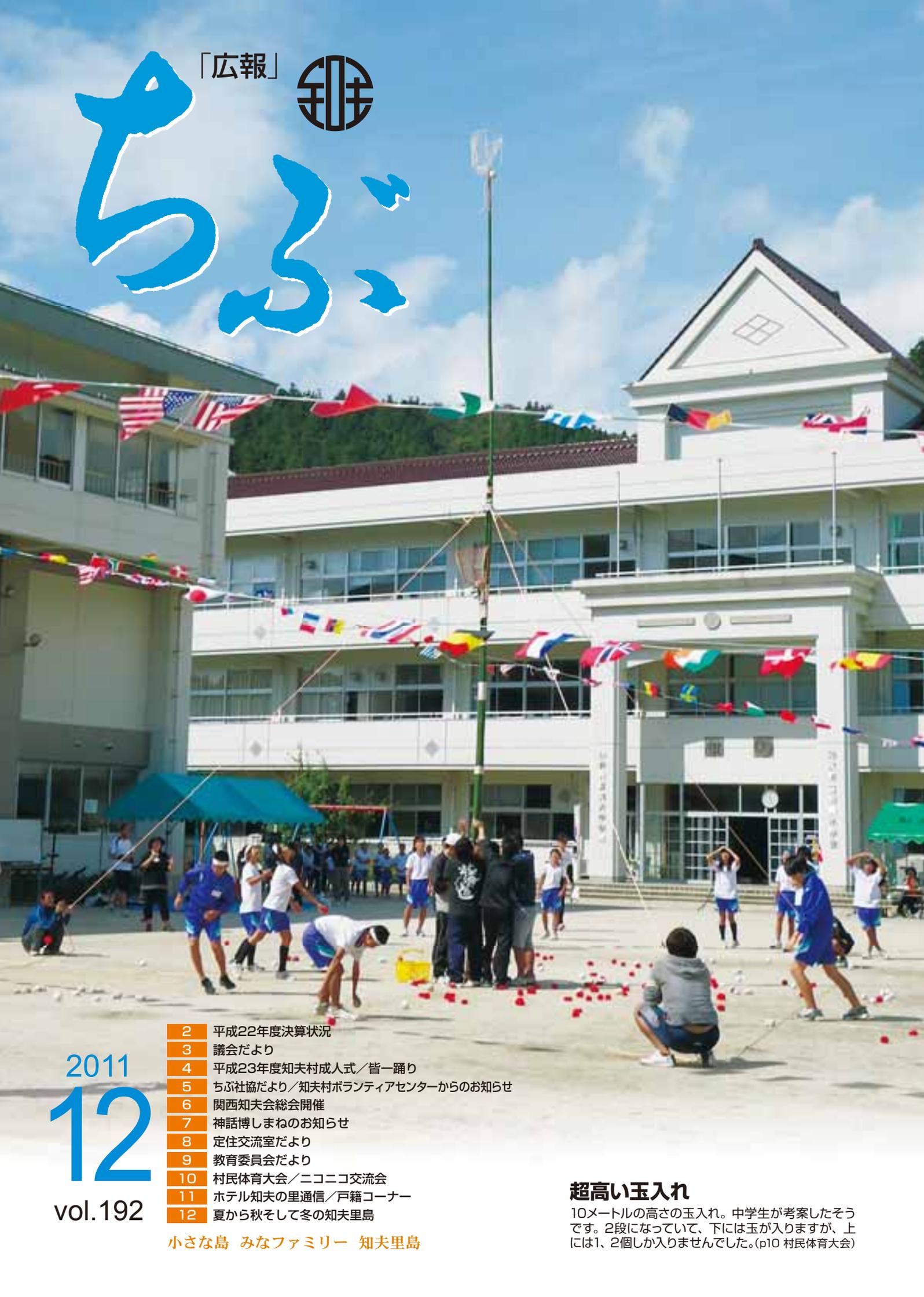


# 「広報」 ちぶ



2011  
12  
vol.192

- 2 平成22年度決算状況
- 3 議会だより
- 4 平成23年度知夫村成人式／皆一踊り
- 5 ちぶ社協だより／知夫村ボランティアセンターからのお知らせ
- 6 関西知夫会総会開催
- 7 神話博しまねのお知らせ
- 8 定住交流室だより
- 9 教育委員会だより
- 10 村民体育大会／ニコニコ交流会
- 11 ホテル知夫の里通信／戸籍コーナー
- 12 夏から秋そして冬の知夫里島

小さな島 みなファミリー 知夫里島

## 超高い玉入れ

10メートルの高さの玉入れ。中学生が考案したそうです。2段になっていて、下には玉が入りますが、上には1、2個しか入りませんでした。(p10 村民体育大会)



# 議会だより 議会活動の活性化を目指して

## 活動報告

知夫村議会は、島根県町村議会で、唯一の村議会であり地方分権化時代にふさわしい議会のあり方として、議会自らの住民との協働活動をおおしての各種施策の企画、立案に参加して、真の住民の負託に答える議会のあり方と活性化を目指して活動の中、平成二十三年九月まで取り組んだ議会活動及び審議結果を報告します。

### 九月定例会概略説明

九月二十二日から祝日土日を挟み二十八日まで四日間開催した。

○一般質問では、堂下議員が、知夫村育児奨励金条例について。

向濱議員が、知夫村における今後の財政の見通しについて。

高田議員が一、太陽光発電の村内推進について。二、村が関わる牛の多頭飼育計画(サンシャイン計画)の推進について。

三名の議員から一般質問があり、村長の所信を問いました。

### 主な案件の議決

○知夫村税条例の一部を改正する条例について。

○隠岐広域連合規約の一部を変更する規約について。

○平成二十三年知夫村一般会計補正予算(第二号)と平成二十三年知夫村国民健康保険特別会計補正予算(第二号)他一特別会計補正予算を可決した。

○平成二十二年知夫村一般会計決算(総額一、三七四、三〇四千円)と平成二十二年知夫村国民健康保険特

別会計決算他六会計(総額三八六、三四六千円)を、議員全員を委員とする決算審査特別委員会に付託し、二日間の委員会審議を経て、平成二十二年決算を可決した。

○健全化判断比率及び資金不足比率について報告があり、監査委員の審査意見書では、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率とも、早期健全化基準を下回って良好である。

○発議及び陳情では、離島振興法の改正・延長を求める意見書、地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情、T P P交渉参加反対に関する陳情をそれぞれ採択し、政府等に意見書の提出をした。

### 皆様の声をお聞かせください

七地区の懇談会において、議会に対し、議会開催日の村内放送、一般質問と議事日程の内容を傍聴者に配布する要望があり、九月議会より実施しました。また、出郷者の方の提言が一件あり、各月の全員協議会の場において、その内容について検討しています。

## 島根県町村議会議員研修・ 隠岐島町村議会議員研修に参加して

知夫村を九月二十八日に出発して、九月二十九日には、島根県市町村振興センター(松江市)において、島根県町村議会議員研修が開催され、県内十一町村から約二〇〇名の議員が参加しました。研修内容は、午前中の講演は、島根県消防防災課の井上幹雄氏が「島根の防災」と題し、東日本大震災をふまえ原子力発電所の事故、地震・津波が発生したら島根県全体にどれくらいの被害が想定されるかといった興味深い講演でありました。午後からの講演は、拓殖大学地方政治センター長・竹下讓氏が、「住民に評価される

議会改革を！」と題し、氏は三重県教育委員長の経験もあり、県議会に

出席した際の議員とのやり取りも交え、住民は、議会に対し厳しい意見がある反面、議会に無関心な面もある。少しでも住民の意向に沿った議会活動を行ってもらいたい、と講演されました。

翌三十日は、午前九時から隠岐島町村議会議員研修会で、世界的に有名な医療機器メーカーの中村ブレイス社長の中村俊郎氏を講師に、「隠岐島は日本海の宝物」と題した講演を聞きました。学生時代に隠岐に旅行し地元の人に親切を受け嬉しかったエピソードが聞かれ、多くの隠岐の人と接した中で、隠岐には地元の人が気づかない貴重な「宝」があるのだという話を伺いました。



平成23年度

# 知夫村成人式

## 猛

暑が続く中、知夫村成人式が八月十四日(日)に知夫村役場で行われました。

今年はお盆が土、日ということもあってか六名の新成人の方に参加して頂きました。今年も隠岐海上保安署のご協力のもと、巡視船「さんべ」で乗船予約者四十三名と一緒に中ノ島を一周しましたが、特別に操縦席に座らせて頂き普段味わうことの出来ない体験をしました。式典では、全員からの自己紹介、加藤輝士さんの挨拶で締めくくりました。式典の後の懇親会はお忙しい中、道川先生に参加頂きました。

貴重なお盆休みの中、出席して頂いた新成人の皆様、道川先生ありがとうございます。年々参加者が少なくなっていく成人式ですが、村では工夫を重ね、この式典が途絶えることなく、また、帰省した時には「知夫里はやっぱりいいなあ」と言われる島にしたいと思います。



# 皆一踊り

毎年、旧暦の8月15日に一宮神社の境内で行われる皆一踊りが、今年も、9月12日に好天に恵まれ行われました。

当日は、小中学生及び教職員全員参加し、仁夫地区の方々も踊りました。見物人の方々も結構いました。



# ちぶ社協だより

地域で支えあう暮らしづくり  
みんな

## 敬老会開催される!!

9月27日秋晴れの中、敬老会が開催されました。出席者は来賓の方を含め115名でした。今年80歳以上になられたご夫婦1組に社協、老人会より表彰がありました。たくさんの方にご協力いただき盛大に開催されたことを心より感謝申し上げます。



教育委員会職員  
による爆笑寸劇



芸達者勢揃い



みんなで体操  
1・2・3



80歳以上のご夫婦表彰  
おめでとうございます



社協職員による  
隠岐民謡



小学校1・2年生によるマルマルモリモリ

## 知夫村ボランティアセンターからのお知らせ

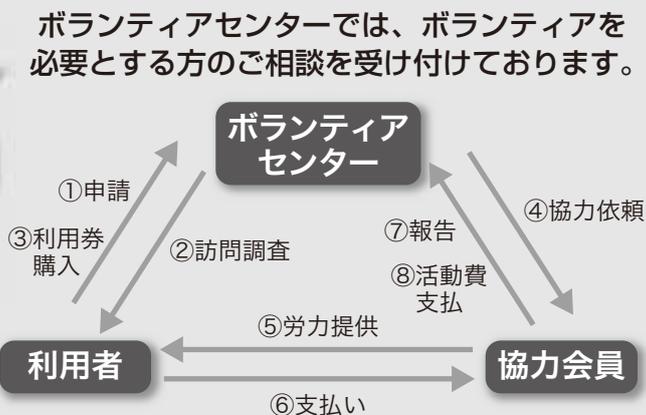
**有償**

家の周りの草取り  
粗大ごみ出し  
家の中の掃除

\*有償の場合の基本料金  
1時間500円

**無償**

話し相手 ごみ出し  
買物の手伝い 子守  
配食サービスの配達



受付方法▶毎週木曜日 午前9時から11時30分まで電話にて

ご相談  
お問い合わせ

知夫村ボランティアセンター(知夫村社会福祉協議会内)  
TEL 8-2270



(写真撮影：浪花良夫)

井田会長

## 盛り上がった 関西知夫会

十月十六日、ホテルコムズ大阪において、第四十回関西知夫会総会が会長の井田進様をはじめ、九十一名の会員様や関西隠岐人会代表の村田英子様御出席のもと盛大に行われました。

式典ではその冒頭に、今は亡き会員様に一分間の黙とうを捧げ哀悼の意を表したあと、主催者を代表して会長が挨拶をしました。

その後今年で四十回の節目を迎える関西知夫会に、村長が感謝状を贈呈し、その榮譽をたたえました。そして総会終了後はみなさんお待ちかねの懇親会に入りました。

今回も昨年に引き続き知夫村からは隠岐民謡の「あざみ会」の出演を依頼しており、しげさ節、隠岐相撲取り節、どっさり節など日ごろの練習の成果をご披露いただき、また会員からなる「御越会」のどっさり節に合わせた息の合った「そば打ちおどり」など会場は

# 第40回 関西知夫会総会開催

熱気に包まれました。

その後も演芸の司会者である知夫村社会福祉協議会の仲克忠会長の名調子と三味線と太鼓と唄の勢いはとどまることを知らず、「隠岐磯節」に突入し、会員や来賓、村からの参加者などが入り乱れての踊りや手拍子に、音響の故障も何のその、会場の盛り上がりはピークに達しました。

そして仕上げはいつもの「盆踊り」。哀調のある口説きに「チョーイヤッサー」「チョーイヤッサー」の囃子声。「来年もまた会わーど」「のしも元気でこいよー」と互いに声をかけあって、最後は関西知夫会副会長の道川隆太郎様の万歳三唱で、無事総会を終了しました。

この総会に参加された会員様をはじめ、御来賓の皆様、「御越会」「あざみの会」の皆様、そして総会の準備等で御尽力された役員の皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

(総務課長 田上 俊)



よみがえる はじまりの物語

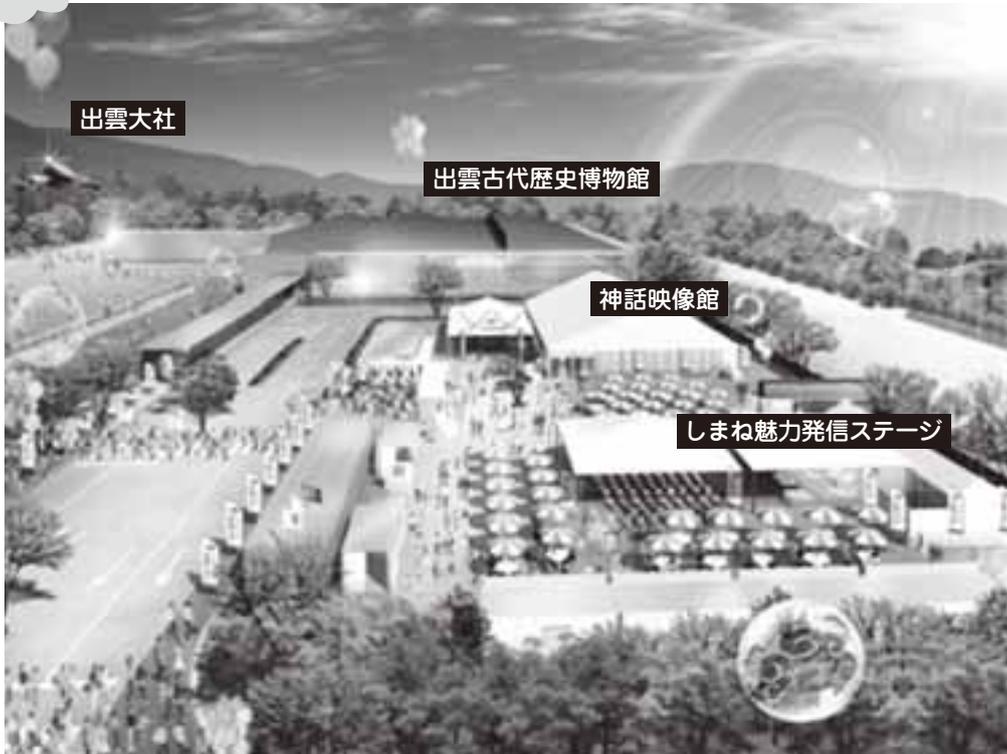
JAPAN WITH EXPO IN SHIMANE

## 神話博しまね

2012.7.21-11.11



来年は古事記編さんから1300年  
**神々の国しまね**



## 主会場である出雲大社周辺の特設会場（イメージ）

会場周辺には、出雲大社や稲佐の浜など、神話を想起させる場所が存在しています。映像、写真や神楽などを見て神話の魅力を感じた来場者の皆様が、そうした神話ゆかりの地を訪ね歩きたいような会場づくりを行います。



この国のはじまりの物語が綴られた日本最古の歴史書「古事記」。そこに描かれた神話の舞台が「島根」です。

隠岐は、古事記の国生み神話に隠岐の三つ子島として登場し、イザナキとイザナミが大八島（日本）を生み出す時に淡路島、四国に続いて生まれたと記述されています。

また、オオクニヌシノミコトが助けた因幡のシロウサギは、隠岐からやってきたとも言われています。

そのような壮大なスケールの物語にふさわしい地形や景観、文化などが評価され、隠岐ジオパークは世界ジオパーク国内候補地に決定しました。

島根県では、県民の皆様が数々の神話の舞台となった島根の良さを再認識し、その魅力を磨き上げ観光客の皆様をおもてなしすることが、観光誘客だけでなく地域への愛着と誇りを育むことにつながるといふ基本理念のもと、「神々の国しまね」プロジェクトを展開しています。

古事記編さんから一三〇〇年を迎える来年七月から、神話博しまねが開催されます。島根県内各地で神話のロマン

と魅力を体感できるイベントです。主会場である出雲大社周辺の特設会場では、大迫力の映像で神話の魅力を体感できる《神話映像館》、県民の皆様ご自身が出演する《しまね魅力発信ステージ》などを企画しています。『おもてなし』につながればステージの内容は問いません。我こそはという方は、ぜひ出演をご検討ください。神話にゆかりのあるグッズやお土産等が販売され、地元の味覚を楽しめるブースも設置されます。この機会に、神話の世界にふれて地域の魅力を再発見してみませんか。

事業についての詳細は左記ホームページからご覧いただけます。

● みんなでしまねのはじまりとオススメを発信するポータルサイト

「しまねはじまり通り」  
<http://www.shimane-hajimaru.jp>

● お問い合わせ先

神々の国しまね実行委員会  
 ☎〇八五二―三二六七五七



## 輝け11(イレブン)!! しまね町村フェア

平 成の大合併により島根県の五十一町村が十一

町村に減少されたことに伴い、十一月十九日～二十日の

二日間松江市向島にあるTSK新社屋建設予定地において、島根県の町村の魅力を発信する目的で「輝け11(イレブン)!! しまね町村フェア」

が開催され、知夫村からも特産品販売、情報発信等ブースを設けて地元食材を販売しました。また、ステーションアでは知夫村からは、あざみ会の隠岐民謡をはじめとするステージショーが披露され会場の賑わいに一役かっけていました。

当日は雨天ということもあり、集客目標の一万人の入場者には届きませんでした。が、とうふドーナツ、イノシシ肉の串焼き等各町村のご当地ならではの特色ある特産品が販売され来場者に人気を得ていました。



## 隠岐ジオパーク、 世界認定に向けて大きく前進!!

九月五日に開かれた日本ジオパーク委員会で、

隠岐ジオパークが世界ジオパーク国内候補地として推薦されることになりました。

世界ジオパークは、ユネスコの支援のもとで、世界ジオパークネットワークが平成二十二年十月現在で世界二十五か国七十七ヶ所を認定しており、日本国内の認定地域は、洞爺湖・有珠山、糸魚川、島原半島、山陰海岸の四地域です。

推薦の可否を決めるにあたっては、八月二十二日から二十四日の三日間、日本ジオパーク委員会から三人の審査委員が来島しましたが、委員からは、地形・地質、発達した独自の生態系などの見どころが多いこと、また、それを伝えるガイドが活躍しているといった点で好評価を受けました。

推薦は受けましたが、あくまで通過点に過ぎません。今後は、隠岐四町村などで行く「隠岐ジオパーク推進協議

会」と隠岐四町村は、連携しながら、課題として指摘されたジオサイト(地質、地形、歴史などそのジオパークを特色づける見学場所や拠点)の説明看板の設置、外国語対応を進めるなどして、平成二十四年秋に予定されている世界認定を受けることで、隠岐島の地域振興、観光振興が図られるものと期待が寄せられています。



国の天然記念物に指定されている赤壁の断崖は圧巻であり、見る人の心を離さず隠岐を代表する景勝地となっています

## 「渾身」映画撮影

「イルウエイズ」「うん、何?」「白い船」

等の島根を舞台とした映画を製作している錦織良成監督の最新作、隠岐の古典相撲を題材にした「渾身」の映画撮影が、十月二十日に知夫村の赤はげ山で行われました。

当日は、主演の坂本多美子役の伊藤歩さん、子役の井上華月さんを中心としてスタッフ三十名にて、居島牧場での撮影が行われました。

牧場で牛を扱うシーンでは、仁夫の南敬二さんに撮影に必要な牛を何度も集めていただき繰り返し撮影が行われました。餌づけをしているといっても何回も集めるのは至難の業と、スタッフ一同大変な気遣いようでしたが、スタッフの方が驚くようにスムーズに集まり撮影を終了することができました。牛集めを演出する伊藤歩さんは何度も繰り返し「もー、もー」と熱心

## 「ふれあい文化祭

恒例の「ふれあい文化祭」

が十一月五日、開発総合センター周辺を会場に開催されました。今年度より、多くの村民の皆さんに参加してもらうため実行委員会を組織し、いろいろと内容を検討して準備を進めました。村民の皆さんから企画を募集し、民謡演奏などステージ発表に二件、菊や俳句など展示発表に

十八件、マグロの解体ショーや和牛、おでん販売など出店として十七件の参加があり、盛りだくさんの内容となりました。当日はあいにくの雨模様でしたが、村内外より約三百名が来場され、展示見学や特産品の購入などで賑わいました。

午後には、芸術鑑賞として

ゲストによる和太鼓や津軽三味線の演奏、ライブショーなどステージも大変盛り上がりました。また、薄型テレビや灯油二〇〇リットルなど豪華景品の抽選会があり、当たり外れに歓声とため息が会場のあちこちで聞かれました。最後にもちまきが行われ、楽しい一日を締めくくりました。

## 「ミュージカル「星の王子さま」

十一月十八日、知夫小中学校体育館において、

東京演劇集団「風」によるミュージカル「星の王子さま」が開催されました。これは、文化庁の「次代を担う子ども文化芸術体験事業」として、子どもたちに優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、豊かな情操を養うことを目的に行われたものです。

小中学生、村民あわせて約百二十名が来場し、役者さんの演技はもちろん、照明、音響など一流の舞台を鑑賞しました。小学五・六年生と中学三年生は歌で共演し、学校の先生も役者として舞台上に立ち、



大いに盛り上がりました。最後に、スタッフの皆さんへのお礼として小中学生が「いのちの歌」を合唱し舞台を締めくくりました。

に演技を繰り返す姿にプロの姿を見ることができました。隠岐の島をあげての古典相撲の映画製作。来年秋頃に全国公開予定。注目しておいてください。



伊藤歩さんの牛飼いシーン



左より中本賢さん・伊藤歩さん・南敬二さん・錦織良成監督

# 第56回 村民体育大会

10月2日、恒例の「第56回村民体育大会」が青空の下学校の校庭で行われ、各地区が3組に分かれ競技を競いました。

超高い玉入れ、綱引き、リレーなど色々な競技が行われました。

新種目として、「夫婦円満」と題した競技では、男女ペアが協力して障害を乗り越えることに周りから大きな歓声が上がっていました。

また、ムカデ競走では、中学生に負けまいと大人も全力で取り組んでいました。



## ニコニコ交流会

11月25日、小学生と知夫村老人クラブ連合会がニコニコ交流会を行いました。昔の遊び道具を作り、遊びました。内容は竹トンボ、お手玉、竹馬です。小学生は最初竹馬に上手に乗れませんが、すぐに乗れるようになりました。

老人クラブ連合会の皆さまご苦労様でした。



# ホテル 知夫の里通信



## ご挨拶

ホテル知夫の里 支配人  
田上 潤

この4月よりホテル知夫の里の支配人としてお世話になっております田上潤です。知夫には2年前の6月に京都からのUターンで帰ってきました。前職は見た感じとはかなり違いますが、着物を作る手描き友禅職人でした。京都太秦映画村近くで田上工芸という工房をやっている、今も工房は続いています。手描き友禅職人から支配人への転身に関連性は全くないですが、着物の作家活動をするなかで、ホテルでのファッションショーとか、接客等の経験はありました。もともと笑わせること、賑やかなことは大好き人間ですので、皆様との気楽なお付き合いのほど、よろしく願いいたします。

ホテル知夫の里での仕事は、スタッフの潤滑油として役に立てるように、何でもやっています。電話受付、運転手、森林組合での草刈り作業経験も役に立っています。この8ヶ月、数々の失敗もありましたが、その度に「いいけん、いいだわい、仕方がねえだわい」と優しく接してくれる皆さんには本当に感謝しています。それでもまだ悩んだり迷ったりしていると、「ええーい！ まあ、どげでもいいだわい！」とお叱りを受けます。知夫の人達の決まり文句「まあいいだわい」には、本当に救われました。要するになるようにしかならんけんの教えに従うことで、余分な力みも消え、楽になりました。こんな適切でわかりやすい言葉でご指導していただき、優しく接してくれる人達に出来る限りのサービスで応えていきたいと思っています。

知夫に生まれたこと、こんなに人情に厚く、すばらしい自然の中で育ったことを誇りにしています。観光客の方々も口をそろえて島の情と、手つかずの自然を絶賛してくれますから、毎日気分よく仕事が出来ています。

最後になりましたが、スタッフ一同で皆様のお役に立ち、お気軽に寄って頂けるホテルでありたいと願って、精一杯やっていますので、皆様よろしく願いいたします。

## 戸籍コーナー

(太字は村内在住者・敬称略)  
平成23年7月1日〜平成23年11月30日届出分

### 結婚

おめでと〜♡おめでとうございます

真鍋 勝 福岡県  
宮岡 由衣 郡

### やすらかに

心からおくやみ申し上げます

上川 武市(97) 古海  
並河 辨子(95) 郡  
敷 賀理(63) 仁夫

### おすこやか

お誕生おめでとう♡おめでとうございます

白川 心音  
保護者 白川 満孝



## ふるさと知夫寄附金(ふるさと納税)のお礼

お陰様で平成二十二年度において五名の方から十五万五千円のご寄付をいただきました。

また、申し込みに際しては「ふるさと知夫村」へのあたたかい励ましのメッセージ等もいただき、ご寄付をいただきました皆様には心から感謝を申し上げます。

匿名希望の方を除き、広報ちぶの紙面をかりて氏名等の公開にご理解をいただいた皆様方をお知らせします。

◇寄付者ご芳名(順不同)  
安藤 利雄様(東京都)

宿 敏幸様(奈良県)  
菊池 純一様(大阪府)  
井田 進様(大阪府)  
その他匿名希望 一名  
寄附金に寄せられた皆様方のメッセージを紹介します。

○頑張ってください。  
○何かのお役に立てて下さい。  
生まれ育った故郷知夫が、いつまでも元気でありますよう祈っております。

皆様方にはご無理のない範囲で今後も協力をいただきますようお願い致します。

## ありがとうございます

金一封をいただきました。ありがとうございます。

(敬称略)

### 広報郵送料

山本 春知(東京都)  
埴岡 満(岡山県)  
田畑 勉(大阪府)  
島崎 良一(神奈川県)  
宮岡 靖司(大阪府)  
関西知夫会(大阪府)  
道上 亨(福岡県)  
澤谷ツモル(西ノ島町)  
野津 盛(千葉県)  
匿名希望 一名

### 編集後記

今年を振り返ると、昨年末から一月、二月は例年になく積雪で、三月には東日本大震災が発生し多くの方が被災し、今でも避難生活が続いています。四月は県知事、村議会選挙が執行されました。夏には恒例の花火大会、各地区での盆踊り、秋は村民体育大会、文化祭が催され、小さい村ですが賑やかに行いました。

来年が良い年でありますように。

直通電話〇八五一四一八九〇一三  
E-mail: chisen@chibu.jp



# 夏から秋そして冬の 知夫里島

